

令和6年度事業報告

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

1. 概 況

本会は、法人会の理念である「税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し国と社会の繁栄に貢献する」ことを目的に、税関連の公益目的事業をはじめとする諸事業や地域に寄り添った社会貢献活動を行っております。

令和6年度におきましても、「税の啓発活動」、「税制提言活動」、「地域企業発展への支援活動」、「地域社会貢献活動」等の公益事業を中心に、「会員の福利厚生促進支援」、「会員間の親睦・交流」に資する事業活動を展開して参りました。

コロナ流行時に積み立てた準備金も活用しつつ、期初計画した事業を滞りなく開催することができ、皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。

税の啓発活動として、「新設法人説明会」、「決算期別説明会」、「DX 説明会」、「法人会指定税務講習会」、「青年部会税務研修会」、「女性部会税務研修会」、青年部会による小学6年生のクラスに出向いての「租税教育活動」、女性部会による市内全校の小学6年生を対象とした「第9回税に関する絵はがきコンクール」等を実施し、絵はがきコンクールでは、過去最高水準である2,238点の応募作品数がありました。

税制提言活動では、毎年実施している税制改正提言にて、中小企業の租税負担の軽減、適正公平な課税・税制等を「令和7年度税制改正に関する提言」に反映させ、各市長、地元選出国會議員への要望陳情活動を、例年通り実施しました。今後も、中小企業支援策に焦点をあて税制提言活動を実施して参ります。

地域企業発展への支援活動として、「初級簿記講座」、「職場のマナー研修会」、「法人会特別講演会」、「青年部会経営研修会」、「女性部会特別講演会」、「ビジネスカフェ」を多くの方に参加いただき開催しました。

地域社会貢献活動として、各支部が実施した「新座市民まつり」、「日本赤十字社の献血協力」、「黒目川花まつり」、「朝霞市民まつり」、「川と街をきれいにする運動」では多数の来場者のもと実施しました。また、女性部会が行う通年のエコキャップ・使用済み切手の回収運動は、医療支援・障害者支援、世界の子供へのワクチン支援を目的に実施しました。

会員の福利厚生促進支援では、万一の場合に備えて、「1社でも多くの会員企業を守りたい」という理念のもと、提携生損保3社と連携を取りつつ取り組んでまいりました。また、会員間の親睦・交流事業も、総会懇親会、各支部賀詞交歓会等、多くの方に参加いただき実施しました。

結びにあたり、役職員一同、会員の皆様並びに地域社会に従来以上にお役に立ち、貢献できるよう、今後も活動して参りたいと存じます。

当事業年度の各支部、各委員会、各部会の活動の詳細は次頁以降に記載の通りです。

2. 4支部(朝霞・志木・和光・新座)

4支部では、下記の通り、それぞれ会員ならびに非会員を対象とした交流による地域の発展・活性化を目的として社会貢献活動を積極的に展開しました。また、地域企業の異業種交流並びに情報交換等を目的とした賀詞交歓会・親睦研修の開催を諸会議で検討のうえ実施しました。

(1) 朝霞支部

朝霞支部は事業計画に基づき、地域社会貢献活動の一環として、「第19回黒目川花まつり」(令和7年3月29日～30日)に参加しました。法人会ブースにおいて法人会のPR並びに税の普及活動を行い、またホットドッグ売上金と募金、合わせて144,583円を「大船渡大規模山林火災義援金」として寄付しました。

「朝霞市民まつり」(令和6年8月3日～4日)では、青葉台公園に法人会の幟を配置し、鳴子チームへは法人会ステージを提供、踊り子さんへの給水活動を行い、法人会のPRに努めました。

賀詞交歓会(令和7年2月4日)は、来賓もお招きして盛大に開催し、会員間の親睦を深めました。

(朝霞支部に関連した事業・会議等詳細は、8、16、17、18 ページ に記載)

(2) 志木支部

志木支部は事業計画に基づき、地域社会貢献活動の一環として、例年実施する「川と街をきれいにする運動」(令和6年5月11日、10月27日)に参加しました。

また、志木市コミュニティ協議会にぎわい創出委員会メンバーとして、「さくらフェスティバル」(令和7年3月22日～23日)への参加を行うとともに、「いろは親水公園四季の花畑ゾーンの除草・植栽作業」を年間通して行いました。

支部親睦研修旅行(令和6年11月15日)は多摩の日の出山荘を見学後、石川酒造内のレストランでの料理を堪能、また、賀詞交歓会(令和7年1月21日)は、来賓もお招きして盛大に開催し、会員間の懇親を深めました。

(志木支部に関連した事業・会議等詳細は、8、16、18ページ に記載)

(3) 和光支部

和光支部は事業計画に基づき、地域社会貢献活動の一環として、「日本赤十字社への献血協力」(令和6年9月4日)を、支部・青年部会・女性部会の会員の協力もいただき実施しました。当日は、参加総数70名と、多くの方の協力をいただき、併せて、税の啓発用冊子の無料配布を行い法人会のPRに努めました。

支部親睦研修旅行(令和6年11月24日～25日)は、福島方面(大内宿・会津若松、いわきワイナリー)に行き、また、賀詞交歓会(令和7年2月7日)を盛大に開催し、会員間の親睦を深めました。

(和光支部に関連した事業・会議等詳細は、9、16、17、18ページ に記載)

(所管法人数 8,012 社) (所管法人 7,719 社) (内訳:正会員 1,693 社・賛助会員 219 社)

5. 研修委員会

研修委員会は事業計画に基づき、地域企業の健全な発展に資する事業として税務・経営・経理をはじめ会員・非会員を問わず、ニーズに即した研修事業を実施しました。

- (1) 税務当局、税理士会の協力のもと、「新設法人説明会」「決算期別説明会」「DX説明会」「消費税インボイス制度説明会」を、隔月で計21回開催し、出席者は会員並びに非会員あわせて延べ386名にのぼりました。
- (2) 初級簿記講座、職場のマナー研修を会催し、延べ112名の参加がありました。
- (3) 著名な講師をお招きし、時局に合ったテーマを選択して特別講演会を2回実施しました。講師は、北朝鮮拉致被害者の蓮池薫氏氏、社会起業家の渡邊智恵子氏で、延べ180名の出席者を集め開催しました。
- (4) 昨年度より開始した会員向けサービスのインターネットセミナーは、年間で延べ約6,000件のアクセスがありました。700本以上のセミナーがオンデマンド配信されており、対面での研修と併用することで、会員が希望する研修テーマのメニューが増えています。

(研修委員会に関連した事業・会議等詳細は、10、11、14、17、19、20ページ に記載)

6. 税制委員会

税制委員会は事業計画に基づき、税制改正提言の取りまとめ・提言活動等の諸事業を実施しました。当会は、会長が一般社団法人埼玉県法人会連合会の税制委員長の委嘱を受け、また公益財団法人全国法人会総連合の税制常任委員の委嘱も受けているため、税制改正提言案の策定にも関与しています。

- (1) 税制に関して意見具申することが税制委員会の重要活動であり、「令和7年度税制改正に関する提言」へのアンケート調査を全役員向け、全会員向けに発信し、Web上での回答を依頼した結果、役員72件の回答をいただきました。調査結果は県連を通じて、全法連が取りまとめ提言書を作成し、当会では各市長・地元選出国會議員に直接持参し要望陳情活動を行いました。
- (2) 令和6年10月3日、第40回法人会全国大会(鹿児島大会)での税制改正要望式典には会長はじめ5名が参加しました。
- (3) 令和6年11月14日、「税を考える週間」の中で、朝霞税務署と管内納税協力団体協議会との共催により、朝霞駅前にて法人会PR用チラシを含む税の啓発活動グッズを配布しました。
- (4) 令和6年11月26日、「法人会指定税務講習会」を開催しました。朝霞税務署長が講師となり、「これからの社会に向かって」というテーマで講演をしていただき、49名の出席者を集め、好評を博しました。

(税制委員会に関連した事業・会議等詳細は、11、15、16、19、20ページ に記載)

7. 広報委員会

広報委員会は事業計画に基づき、ホームページ並びに広報紙による税情報の発信を基本に一般の方にも広く親しんで貰えることを念頭に活動を行いました。

- (1) 広報紙「法人NAVI」の発行は、年4回行い、掲載記事は役立ち・楽しめる内容となるよう編集に工夫をこらしました。また、当会QRコードを作成し、広報紙の表紙に掲載しました。読み取ると、当会ホームページを閲覧出来ます。QRコードは、その他一部の印刷物にも掲載しております。

- (2) 当会のホームページについても税制アンケート用バナーを貼り、当会ホームページから回答できるようにしました。また、講演会・研修会・各支部で実施した社会貢献活動など、その都度、画像を更新し、会の活動がわかるよう掲載しています。

朝霞法人会ホームページのアドレス(<http://a-hojinkai.or.jp/>)

- (3) 屋外の法人会「看板」の設置は、朝霞、志木、和光、新座市内に設置させていただいており、本会のPR活動の一環として今後も適宜増やしていきたいと思いをします。

(広報委員会に関連した事業・会議等詳細は、11、16、19、20ページ に記載)

8. 厚生委員会

厚生委員会は事業計画に基づき、福利厚生制度加入拡大キャンペーン「Challenge100」を展開し、「1社でも多くの会員企業を守りたい」の想いに立ち返り、提携生損保と連携して、加入企業と新規契約数の拡大を図ってきました。令和6年度の実績は以下の通りですが、契約事務手数料は、公益目的事業助成金として会費収入と並ぶ重要な運営資金として活用されます。

○経営者大型総合保障制度(大同生命保険株式会社)

役員加入率(70%以上目標)			青年部会新契約企業(単位:社)			女性部会新契約企業(単位:社)		
対象数	目標	加入率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率
67	47	70.1%	3	4	133.3%	2	3	150.0%

新契約保険金額(単位:万円)			新規企業数(単位:社)			紹介獲得件数(単位:社)		
目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率
204,000	394,600	193.4%	12	17	141.7%	36	37	102.8%

○ビジネスガード(AIG損害保険株式会社)

新規企業(単位:社)			取扱企業(単位:社)			請求保険料(単位:千円)		
目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	前期比
33	24	72.7%	388	386	99.5%	284,000	295,540	104.1%

○がん保険(アフラック生命保険株式会社)

役員企業加入率(単位:社)			新契約保険料(単位:千円)			転入保険料(単位:千円)		
目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	前期比
43	37	86.0%	8,428	6,088	72.2%	1,541	2,626	170.4%

- (1) 生活習慣病健康診断ならびに一般定期健康診断の利用は、会員向け特別料金の設定により多くの申し込みをいただきました。健康面から会員加入のメリットを実現しており、未利用会員は新規の利用をお願いします。(令和6年度6回実施)

(厚生委員会に関連した事業・会議等詳細は、11、18、19、20ページ に記載)

9. 青年部会

青年部会は事業計画に基づき、青年経営者が中心となり下記の様々な活動を実施しました。

- (1) 第38回全国青年の集い福井大会(令和6年11月7日～8日)は19名の部会員が参加しました。
- (2) 青年部会経営研修会は、令和6年9月4日、渋沢栄一翁の玄孫で実業家の渋澤健氏を招聘、一般を含め多数の参加者があり、好評を博しました。また、青年部会税務研修会は、令和7年2月3日、講師として税理士山寄庄司氏による研修を実施しました。
- (3) 次代を担う児童・生徒に税の意義や役割を正しく理解してもらい、税に対する理解が国民各層に広がっていくことを目的として、小学校に出向いての租税教室を令和6年5月から6月にかけて計4回行いました。また朝霞税務署主催の租税教室講師説明会に参加しました。
- (4) 令和7年3月8日、親睦事業としてレンタルカートによる安全運転研修並びにレーシングカートを行いました。34名の参加者があり、レース並びにその後の懇親会は大いに盛り上がり親睦を深めました。
(青年部会に関連した事業・会議等詳細は、12、15、16、17、20ページ に記載)

10. 女性部会

女性部会は事業計画に基づき、女性経営者が中心となり下記の様々な活動を実施しました。

- (1) 女性部会税務研修会は、計画に基づき年2回、令和6年8月28日と令和7年2月13日に開催しました。
- (2) 第18回全国女性フォーラム広島大会(令和6年4月18日)には6名参加しました。
- (3) 女性部会創立30周年を記念して、令和6年10月11日に特別講演会と祝賀会を開催しました。特別講演会は、TMG あさか医療センター院長の飯田惣授氏、婦人科副部長の春日晃子氏を招聘し、一般参加を含む100名の参加者があり、好評を博しました。また、祝賀会は57名の参加があり親睦を深めました。
- (4) 第9回税に関する絵はがきコンクールを実施。管内の小学校44校の6年生を対象として、「税の大切さ」、「税の果たす役割」について学び、その知識や感想を絵はがきにすることで、税に対する理解をより深めてもらうことを目的に行っています。6月に募集を開始、過去最高水準の2,238点の応募があり令和6年11月12日に優秀作品の表彰式を納税表彰式の式典の場で実施いたしました。
- (5) 令和7年3月12日、親睦事業として飯能・青梅方面に行き、竹寺での昼食後、藍染体験を行いました。28名の参加者があり、部会員間の親睦を深めました。
- (6) 通年で女性部会としてエコキャップ回収推進運動を行い、活動した結果、エコキャップの受領個数45,150個(105kg)累計個数701,932個をエコキャップ推進協会へ贈呈しました。
(女性部会に関連した事業・会議等詳細は、12、13、15、16、17、18、20ページに記載)